

平成29年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(前期日程)

# 小論文

(地域学部 地域学科 地域創造コース)

(注意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題は4ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。  
指示があってから確認すること。
3. 解答は解答用紙(横書き)に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

**【問題】**

<資料①>は日本の人口動向と出生率・出生数の推移を表したグラフであり、  
<資料②>は“人口”にまつわる諸論点について述べた文章である。この2つの  
<資料>をもとに、あとの問いに答えなさい。

**<資料①>**

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

出題者注：グラフ中の「今年」は2014年を指す。

出典：増田寛也「2040年—「極点社会」が到来する」（時事通信社編『全論点 人口急減と自治体消滅』時事通信社出版局、2015年、2-17頁）。

<資料②>

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

出典：神野直彦「人口減少に脅えるな ルールは変わった」（時事通信社編『全論点 人口急減と自治体消滅』時事通信社出版局、2015年、40-43頁）。

出題者注：本問では見出し語ほかの原文を一部省略した。また原文の「図表」は「グラフ」と表記した。

(問 1) <資料①>の 2 つのグラフから読み取れる日本の人口動向の特徴を、出生率・出生数との関係も踏まえて 300 字以内でまとめなさい。

(問 2) <資料①>および<資料②>を参考に、“人口”という言葉に含まれる意味や日本の人口動向を踏まえて、今後の地域社会のありかたを構想する際に必要となる視点について、あなたの考えを 700 字以内で述べなさい。